

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年7月13日

独立行政法人水資源機構
渡良瀬川ダム総合管理所
所長 一ノ瀬 泰彦

1. 目的

この参考見積募集は、独立行政法人水資源機構（以下「当機構」）の草木ダム管理業務で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者のうち、「測量」の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（平成6年5月31日付け6経契第443号）」に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な費用及び必要な技術者（作業員）、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
- (2) 参考見積書の様式は、別添「歩掛参考見積様式」のとおりとします。
- (3) 提出期間 令和8年7月14日(火)から令和8年7月28日(火)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (4) 提出場所
独立行政法人水資源機構 渡良瀬川ダム総合管理所所長 一ノ瀬 泰彦 宛
【担当】総務課
〒376-0303 群馬県みどり市東町座間564-6
TEL 0277-97-2131 FAX 0277-97-3300
- (5) 提出方法
書面は持参、郵送又はFAX(社印があること)により提出するものとします。
見積書の件名は、「令和8年度草木ダム貯水池堆砂測量業務(仮称)」としてください。
- (6) 有効期限
参考見積書の有効期限は、令和9年3月31日とします。

4. 参考見積内容

(1) 基本条件

本件は、草木ダム貯水池管理の一環として、河川測量、ダム・貯水池深淺測量を行い、図面作成、堆砂量計算及び背水計算を行うものです。

(2) 作業項目、作業内容

別添「歩掛参考見積仕様書」のとおりとします。

(3) 作業費の構成と歩掛見積範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する作業費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(調査等編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。
- ② 歩掛参考見積の徴取範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「作業項目及び作業内容」を実施する為に必要な人数を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和8年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面(様式は自由)により提出して下さい。

- (1) 提出期間：令和8年7月13日(月)から令和8年7月17日(金)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：3.(4)に同じ。
- (3) 提出方法：3.(5)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和8年7月23日(木)から令和8年7月28日(火)まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書を提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。また、提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

以 上

(別添)

歩掛参考見積仕様書

第1節 業務目的

本業務は、草木ダム貯水池管理の一環として、河川測量及び深淺測量を行い、図面作成、堆砂量計算及び背水計算を行うものである。

第2節 測量範囲及び実施時期

1. 測量の範囲は、別添平面図に示すとおりとする。
2. 使用する既設基準点（基準点、水準点）は、左右岸距離標とする。
3. 測量幅及び測量範囲は貯水位が EL. 453. 00m で計画している。なお、堆砂面の最深河床標高は EL. 368m 程度である。

第3節 業務内容

3-1 作業計画

作業の実施にあたり、作業の目的および内容、既往測量成果を把握し、作業計画書を立案するとともに、作業実施に必要な準備を行うものとする。

3-2 現地踏査

測量前に現地踏査を行い、測量作業に必要な測線杭を全て確認するものとし、位置及び周囲の状況が把握できる写真を撮影し、監督員に提出するものとする。

3-3 河川定期横断測量、間接水準(山地)

別添平面図に示す左右岸距離標に示す間の水深 1 m までの部分について、横断測量を実施するものとする。

測点間隔は 5 m を原則とするが、測点間に大きな断面変化が見られる場合は、変化点も測定するものとする。

3-4 ダム・貯水池深淺測量

別添図面に示す左右岸距離標に示す間の水深 1 m 以上の部分について、深淺測量を実施するものとする。

測点間隔は 5 m を原則とするが、測点間に大きな断面変化が見られる場合は、変化点も測定するものとする。

なお、最大水深が 3 m 以上の断面は、音響測深機を用いて観測を行うことを原則とする。

3-3 の結果と合わせて、横断面図及び縦断面図の作成を行うとともに、平均断面法による堆砂量の計算を行うものとする。

3-5 背水計算【見積対象項目】

貯水池上流端での背水による影響範囲を確認するため、測量データを元に背水計算（不等流計算）を実施する。背水計算は流量を変えて 3 ケース実施し、測線毎の計測洪水位と草木ダム管理範囲との関係を整理するものとする。

3－6 報告書作成【見積対象項目】

3－1～3－5を取りまとめた報告書を作成するものとする。なお、報告書作成にあたっては、過年度成果も活用し、「ダムの堆砂状況調査要領(案)」に基づく堆砂状況の整理を行うものとする。

—以 上—

(別添)



S=1:15,000

0 500 1,000m

測量範囲

	EL. 453.0m 測量実施時想定水位
	ダム・貯水池深浅測量 (水深3m超) 39測線
	ダム・貯水池深浅測量 (水深1m以上～3m以下) 3測線
	河川定期横断測量 8本

世界測地系区系 (JGD2011)

業務名	令和8年度草木ダム貯水池堆砂測量業務 (仮称)	
図面名	平面図	
作成年月日		
縮尺	1:15,000	
独立行政法人水資源機構 渡良瀬川ダム総合管理所		

(別添様式)

見積記載内容

令和8年度草木ダム貯水池堆砂測量業務(仮称)												
作業項目	数量	単位	直接人件費					その他 (直接人件費に対する比率)			その他 (直接人件費 と機械経費に 対する比率)	備考
			測量主任 技師(人)	測量技師 (人)	測量技師補 (人)	測量助手 (人)	測量補助員 (人)	機械経費 (%)	材料費 (%)	通信運搬費 (%)	精度管理費 (%)	
1. 背水計算	1	式										
2. 報告書作成	1	式										

※「直接人件費」の欄には、作業項目毎に必要な人工を記入して下さい。

※「その他」の欄には、作業項目毎に直接人件費に対する比率、直接人件費と機械経費に対する比率を記入して下さい。